

(1) ねらい

小・中学生が農業体験やものづくりなどの体験学習を通じ、生命・自然を大切にすることを育むことに資するとともに、本校への小中学生・保護者の理解を促し、専門高校の活性化を図ることをねらいとしている。

(2) 活動例

① 坂下の森探検（林業緑地科）

○期日 平成13年10月24日（木）

○場所 坂下小学校校庭

○対象 坂下小学校1年92名
林業緑地科3年39名

小学生を4～6名、本校生徒を2～3名ずつ18班に編成し、各班毎に本校生徒が「先生」となり小学生に樹木の名称等を教えた。

まず、簡単な説明をして、班ごとに坂下小学校の校庭を散策しながら、そこにある樹木の名称を勉強した。本校生徒たちは事前調査として何度も小学校に足を運び、そこにある樹木を調べてきた。大変だったようだが、小学生の喜ぶ顔を見た時には、その苦労も報われたようである。

2時間目は自然と触れ合うという目的で、虫眼鏡で草むらの虫を観察したり、イモムシゲームをしたりして、小学生も楽しく勉強することができたようである。

【本校生徒の感想】

私たち林業緑地科3年は、小学生に授業をするという貴重な経験をさせていただきました。小さい子供を相手に教えるということは、とても苦労しましたが、楽しくできました。きちんと説明できるか心配でしたが、子供が楽しそうな顔をしていたので安心しました。大変でしたが貴重な経験ができました。

【小学生の感想】

「会農生のおにいさんへ」

木をさがしたり、木のなまえをあてるのがとてもたのしかったです。ありがとうございます。またあそびたいです。木のにんぎょうはいま、おまもりにしているよ。



小学生に樹木の種類を教える生徒

② クリームパン作り

○期日 平成13年10月25日（木）

○場所 本校食品加工科製パン実習室

○対象 坂下小3～6年生調理班62名
食品加工科3年12名

小学生約10人のグループに、本校生2人が先生として、クリームパン作りを指導した。事前に仕込んでおいた生地を伸ばして、クリームを詰めるという作業を小学生に教えた。人数が多くて実習室内が混乱したが、小学生たちも生き生きと、楽しい雰囲気の中で行うことができた。クリームを詰めたパンは、本校生徒が1時間ほど発酵させ、焼いた後冷却し袋詰めして、翌日小学校に届けた。

【本校生徒の感想】

いつもは教えられているのに、逆に教えなければならぬのでとても緊張した。分かりやすく適切に説明しなければならないのだが、それがなかなか難しかった。作業も課題研究の授業で慣れているはずなのに、なかなかうまくいかなかった。大勢の子どもたちに囲まれたこともすごく緊張した。小学生の元気さにあおられながらも、時間がたつにつれて話も弾み、楽しく過ごすことができた。大勢の前で説明をしたり、